

|        |           |
|--------|-----------|
| 記者発表資料 |           |
| 発表先    | 石川県政記者クラブ |

扱い：配布を持って解禁

平成23年10月24日



# 「情報化施工の現場見学会を開催」

## ～国道8号小松バイパス東山地区改築工事～

国土交通省では、建設施工分野において情報通信技術の活用により、施工の効率化や品質の向上に資する「情報化施工」の普及を推進しています。

現在、小松バイパスの東山地区で「情報化施工」を実施しておりますが、「情報化施工」の普及・促進のため、実際の現場を見て理解を深めていただくことを目的として、建設業者の方々を対象に現場見学会を開催いたします。

日 時：平成23年10月26日（水）13：30～15：30

場 所：概要説明（ニッ梨会館：小松市ニッ梨町地先） 別紙-1参照  
工事現場（小松バイパス 東山IC周辺）

主 催：北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

概 要：情報化施工の現場見学会

1) 情報化施工の概要説明（ニッ梨会館）13：30～14：00

2) 工事現場での説明 14：30～15：30

紹介技術（別紙-2参照）

- ・バックホウによる掘削・法面整形作業のマシンガイダンス技術
- ・トータルステーションによる出来形管理技術

その他：取材を希望させる方は、事前に問い合わせ先まで申し込みください。

\*情報化施工とは、建設事業の調査、設計、施工、監督・検査、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目して、情報通信技術の活用により各プロセスから得られる電子情報を活用して高効率・高精度な施工を実現するものです。

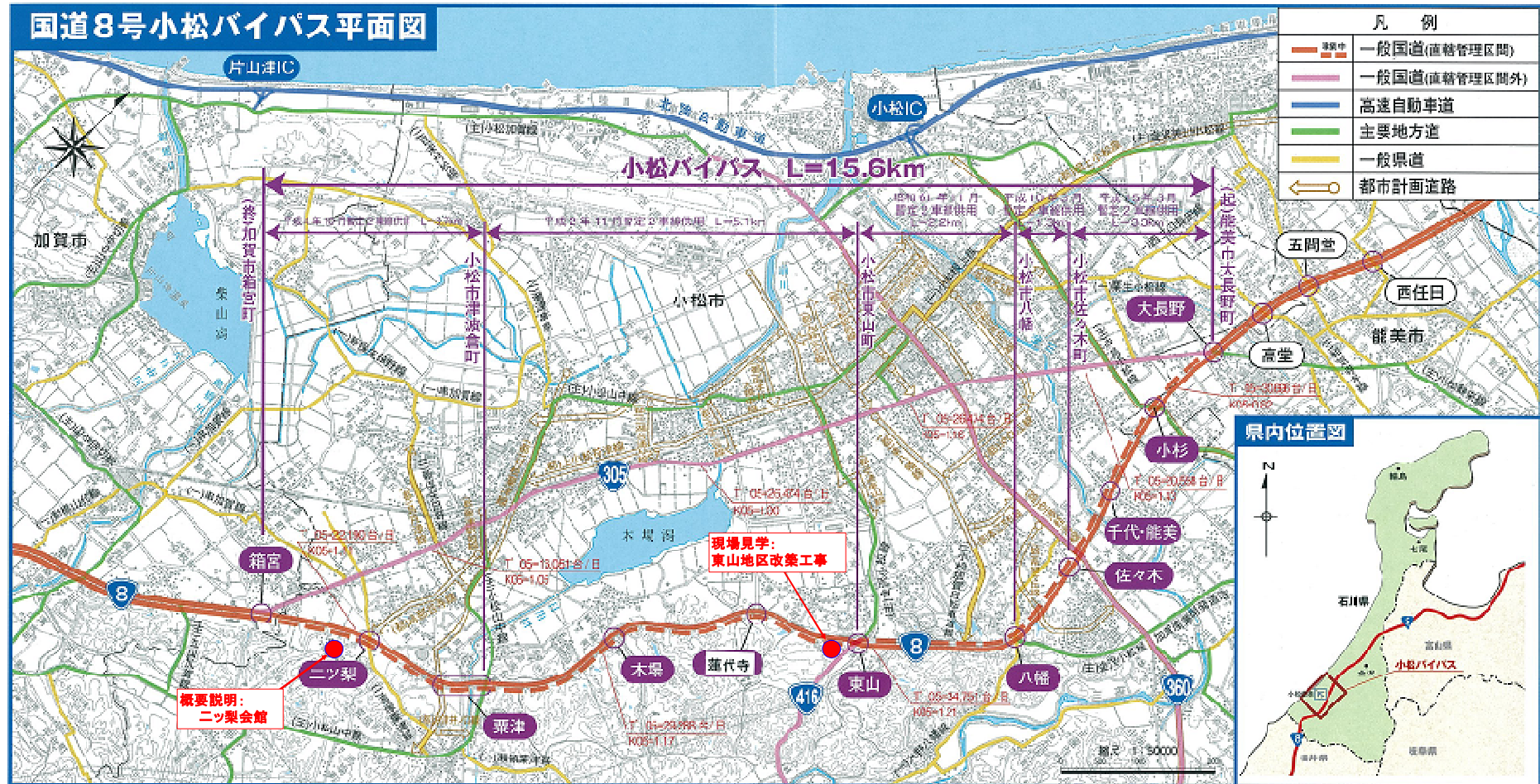
問い合わせ先：

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

建設監督官 畠中 拓治

TEL 076(264)8575（直通）

# 別紙-1



# ■ マシンガイダンス(バックホウ)技術

別紙-2

## 技術の概要



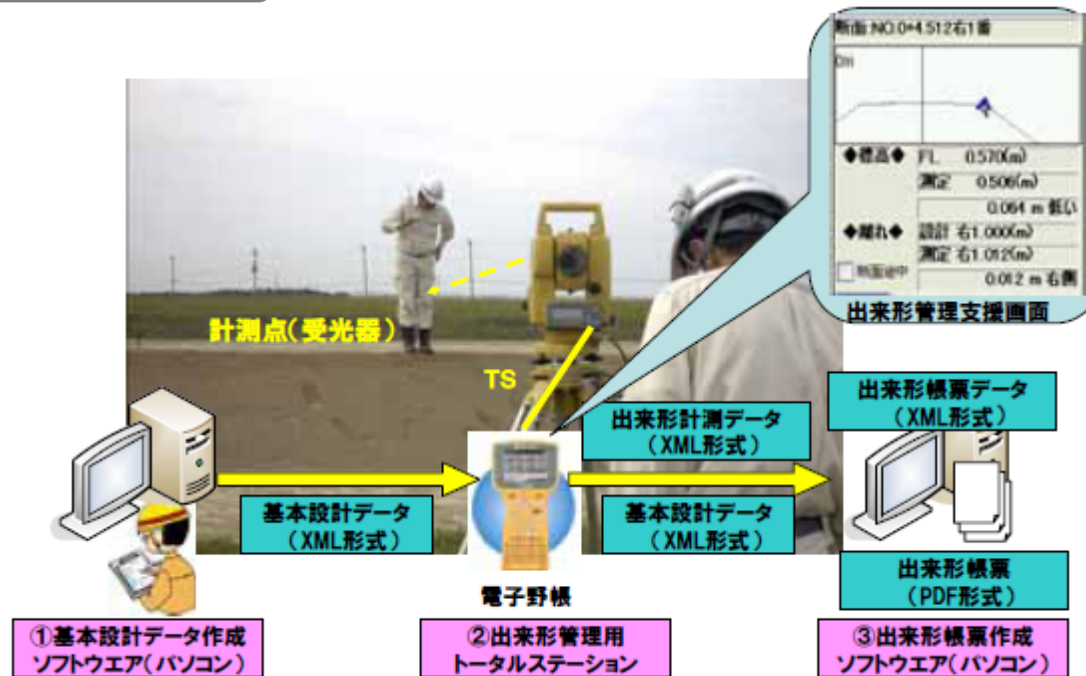
## ◆技術概要

トータルステーションや全地球測位システム、もしくは回転レーザを用いて、バケットの位置・標高をリアルタイムで取得し、設計データと差分を表示し、**バケットを誘導するシステム**を有するバックホウ。

- ◆主な適用工種： 河川土工、道路土工
- ◆主な適用作業： 掘削工、法面整形工
- ◆導入効果： 施工効率の向上、丁張り設置省略、検測作業の削減、出来形の均一化、熟練オペレータ不足対応等

# ■ トータルステーションによる出来形管理技術

## 技術の概要



## ◆ 技術概要

設計データを入力したトータルステーションにより、出来形計測を行い、設計データとの差分を算出するとともに、**帳票を自動作成**する技術。

- ◆ 主な適用工種: 河川土工、道路土工
- ◆ 主な適用作業: 土工の出来形計測
- ◆ 導入効果: 出来形計測の効率化、施工ミスの低減、帳票作成の軽減、構造物の品質確保・監督検査業務の効率化など